

# 審査効率化の提案について

## 【ヒアリング回数の削減】

- ヒアリングが事実確認の場であることに鑑み、各審査会合前のヒアリングについては、**原則1回**で終わることを目指したい
  - ただし、ボリュームの大きい項目については、複数回のヒアリングで一通り説明
    - 有効性評価、耐震設計など
  - 論点の少ない項目はまとめて実施

プラント	ヒアリング回数 (審査再開～初回補正前の審査会合)
女川2	249
島根2	198
浜岡3, 4 (目標)	126

# ヒアリング回数の設定例

審査項目		初回説明	
		ヒアリング	審査会合
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不法な侵入</li> <li>● 誤操作の防止</li> <li>● 安全避難通路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● R C P B</li> <li>● 安全保護回路</li> </ul>	1回	1回
有効性評価 (炉心損傷防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全交流動力電源喪失</li> </ul>	2回	1回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧注水・減圧機能喪失</li> <li>● 崩壊熱除去機能喪失</li> <li>● ISLOCA</li> </ul>	2回	1回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧・低圧注水機能喪失</li> <li>● 原子炉停止機能喪失</li> <li>● LOCA時注水機能喪失</li> </ul>	2回	1回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 津波浸水による全注水機能喪失</li> </ul>	2回	1回
耐震設計 (建物・構築物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震応答解析モデル</li> </ul>	1回	1回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応力解析への弾塑性解析の適用</li> <li>● 原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用</li> </ul>	1回	

## ■ 審査論点等の明確化

- 審査論点（先行炉との相違点、浜岡3，4号炉の相違点）及び合同審査時からの変更点をパワーポイント資料に整理し、明示的に説明
- 先行炉との比較表及び浜岡3，4号炉の比較表を説明に活用

## ■ 重複資料の合理化

- パワーポイント資料を論点等の記載に絞り、まとめ資料との相互確認作業を合理化

## ■ 合同審査実績の活用

- 合同審査時の審査会合コメント反映状況をリスト化し、事前提出
  - 事実確認の際の参考としていただく